

平成28年度 事業計画

社会福祉法人 有田川町社会福祉協議会

**<基本理念> みんなが支えあい住み慣れた地域社会で
安心して暮らせる福祉のまちづくり**

基本方針

近年の地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化、家族・地域社会の変容等に伴い、ニーズの多様化、抱える困難の複合化、必要な支援の複雑化が進んでいます。より専門的な対応とともに、地域における支えあい・助け合いを含む地域包括的な取り組みが、ますます重要になっています。

このような中、当会の経営環境は厳しい財務状況が続いていますが、限られた財源の中で、可能な限り効率的な事業運営を行い、社協の役割を精一杯果たす必要があります。

方針としましては、平成27年度に策定いたしました地域福祉活動計画を柱とし、地域福祉の課題に向き合い、住民・地域の実情に合ったサービスの提供に努めてまいります。また地域の皆さまをはじめ福祉関係機関の皆さまとの協働・連携をさらに強めながら、基本理念に沿った様々な事業に役員・職員一丸となって取り組んでまいります。

重点項目

◇総合相談 ◇情報発信 ◇権利擁護 ◇移動手手段 ◇防災 ◇健康

<基本目標1> 安心・安全な仕組みづくり

福祉ニーズを適切なサービスと結びつけるため情報提供の充実や相談体制の整備、人材育成、様々な福祉サービスの提供・支援を行います。また災害時の被害に対し迅速に対応するための取り組みや、認知症高齢者や障害のある人等の権利擁護の事業を行います。

町地域福祉計画 具体的な取り組み	社協活動項目
きめ細かな情報の発信・共有	広報紙の発行
福祉サービスの相談窓口の充実	心配ごと相談、法律相談・公証人相談
社会福祉に関わる従事者の資質向上と人材確保、苦情を受け止める体制の整備	介護職員初任者研修事業・苦情相談窓口の設置
福祉サービスの適切な提供	介護保険事業・障害福祉サービス事業、在宅福祉事業(受託)
災害時などの対応	災害ボランティアセンター設置運営訓練
地域における子育て、高齢者、障害のある人の見守り支援	高校生修学旅行費の助成事業・災害等見舞金事業、食料等確保のための支援事業
	生活福祉資金貸付事業・社協生活つなぎ資金貸付事業
	配食サービス事業・福祉機器貸出事業
権利擁護に関する普及啓発、成年後見制度の普及啓発	福祉サービス利用援助事業・法人後見事業

<基本目標2> 支えあいのまちづくり

誰もが地域で安心して暮らしていくためには、個人の自立とともに連帯感を育み、支え合い、助けあう意識を高めることが大切です。福祉教育・ボランティア活動を支援し、協働による福祉のまちづくりを推進します。

町地域福祉計画 具体的な取り組み	社協活動項目
福祉の大切さを学ぶ、地域福祉の担い手の育成	学校・住民を対象とした福祉講座事業/ボランティア活動協力校助成事業、職場体験・実習生の受入事業
地域ボランティア、NPO 団体の育成・支援・連携	ボランティアセンター事業、小地域交流助成事業・区の行事用保険料助成事業
協働による福祉のまちづくり	地区福祉委員長会、愛の物資贈呈事業
	クリーン有田川運動、健康福祉まつり
	ふれあい福祉まつり、福祉関係団体等への支援
	有田川町社会福祉大会

<基本目標3> 自立を支える環境づくり

健康で暮らせるよう運動や生きがい活動に取り組み、移動支援の充実も図ります。また誰もが参加しやすい支えあいの仕組みづくりにも取り組みます。

町地域福祉計画 具体的な取り組み	社協活動項目
健康・介護予防とボランティア活動の推進、生きがいづくり推進	高齢者運動指導事業・フォローアップ事業、生きがい活動支援通所事業地域型
生きがいづくりの推進	ひとり暮らし高齢者の食事会・遠足、リフレッシュ事業
移動手段の確保(外出支援サービスの推進)	買物支援サービス、安諦地区サロン・五郷地区サロン
誰もが参加できる仕組みづくり	福祉用具等リサイクル事業、共同募金啓発事業

<基本目標4> ふれあいの場所づくり

住民同士がともに支えあう地域福祉を推進するために、集える機会づくりに取り組みます。

町地域福祉計画 具体的な取り組み	社協活動項目
団塊世代の社会参加、サロン活動の充実	老人クラブ事務局の運営、ふれあい・いきいきサロン等活動の推進事業

【基盤整備】 財源基盤及び組織・機能の整備

会費・共同募金配分金・善意銀行預託金・在宅福祉事業の収益金等の自主財源や町補助金・受託金等を活用して、財源基盤を整備するとともに地域福祉の推進を図ります。地域に開かれた組織として住民参加を推進し、情報公開や説明責任を果たします。

- 経営・財政基盤の整備
- 役職員の資質向上
- 事業の情報開示
- 事業評価導入の推進
- 効率的な運営体制・業務合理化の推進
- 理事会・評議員会等の開催
- 個人情報保護施策等の推進
- 規程等の整備
- 各種会議の整備

安心して暮らせる福祉のまちづくりのために

―平成28年度の事業計画・予算―



健康福祉まつり



福祉交流学習【生きがいデイサービス】



福祉交流学習【車いす体験】



ひとり暮らし高齢者選定

健康

防災

移動手段

権利擁護

情報発信

総合相談

△重点項目▽

近年の地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化、家族・地域社会の変容等に伴い、ニーズの多様化、抱える困難の複合化、必要な支援の複雑化が進んでいます。より専門的な対応とともに、地域における支えあい・助けあいを含む地域包括的な取り組みが、ますます重要になっていきます。

このような中、当会の経営環境は厳しい財務状況が続いています。限られた財源の中で、可能な限り効率的な事業運営を行い、社協の役割を精一杯果たす必要があります。

方針としては、平成27年度に策定いたしました地域福祉活動計画を柱とし、地域福祉の課題に向き合い、住民・地域の実情に合ったサービスの提供に努めてまいります。また地域の皆さまをはじめ福祉関係機関の皆さまとの協働・連携をさらに強めながら、基本理念に沿った様々な事業に役員・職員一丸となって取り組んでまいります。



介護者リフレッシュ事業



災害時対応訓練



ひとり暮らし高齢者食卓会

【収入】

(単位：千円)

科目	予算額
会費収入	7,050
寄附金収入	2,150
経常経費補助金収入	45,590
受託金収入	31,180
貸付事業収入	345
事業収入	7,729
介護保険収入	241,612
障害福祉サービス等事業収入	10,730
受取利息配当金収入	12
その他の収入	29
施設整備等補助金収入	0
積立資産取崩収入	53,500
その他の活動による収入	1,168
合計	401,095

前期末支払資金残高	50,000
-----------	--------

【支出】

(単位：千円)

科目	予算額
人件費支出	306,702
事業費支出	64,460
事務費支出	6,963
貸付事業支出	300
助成金支出	5,750
負担金支出	60
その他の支出	255
固定資産取得支出	0
積立資産支出	0
その他の活動による支出	11,605
予備費支出	5,000
合計	401,095

当期資金収支差額	0
----------	---

当期末支払資金残高	50,000
-----------	--------

【区分別収支内訳】

(単位：千円)

区分 (上段：拠点区分/下段：サービス区分)	収入予算額	支出予算額	当期資金 収支差額	前期末支払 資金残高	当期末支払 資金残高	うち 拠点区分間 繰入金収入	うち 拠点区分間 繰入金支出
本部拠点区分	136,318	136,318	0	36,900	36,900	7,377	5,000
法人運営事業、共同募金配分金事業							
地域福祉活動推進事業							
福祉サービス利用支援事業 資金貸付事業、在宅福祉事業							
東地域拠点区分	116,733	116,733	0	9,800	9,800	0	3,336
居宅介護支援事業、訪問介護事業、 通所介護事業、高齢者福祉センター他							
西地域拠点区分	160,421	160,421	0	3,300	3,300	5,000	4,041
居宅介護支援事業、訪問介護事業 通所介護事業、訪問入浴介護事業							
内部取引消去	△ 12,377	△ 12,377	0	0	0	△ 12,377	△ 12,377
合計	401,095	401,095	0	50,000	50,000	0	0

注) 拠点区分・サービス区分間繰入金の内部取引は相殺消去されています。